

教育委員会定例会会議録

開催日時	令和元年 6月4日 (火) 午前9時00分
開催場所	リバリス1階会議室
出席委員等	委員 鳴海 良廣 委員 柄本奈津美
	委員 牛田 裕子 委員 金永 俊一
	教育長 中竹 聖子
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 萩原一也 専門監 金丸賢一 補佐 小嶋一洋 社会教育係長 白岩修

・教育委員会定例会の開催

議長選出：中竹教育長に議長をお願いしました。

議題及び議事

- (1) 6月期定例会会議録署名委員の指名（中竹教育長・金永委員）
- (2) 5月期定例会会議録の承認について（中竹教育長・柄本委員）
事前に送付していた5月期定例会会議録について、承認され、両名において署名
- (3) 事務局報告

① 教育長報告

- ・5月 7日 (火) 木城町臨時議会がございました。これから先2年間の議会構成が決定したところです。新体制につきましては後日配布いたします。
10連休明けで非常に子供たちの様子を心配したところですが、よく言われる5月病の心配もないようで、順調にスタートしております。先日学校訪問の際にご覧いただいたとおりです。
- ・5月 9日 (木) 5月9日から10日は全国町村教育長会に出席しました。最後に報告させていただきます。
- ・5月12日 (日) 町民体力づくりの一環でグラウンドゴルフ大会が開催されました。最高齢は92歳の方だったと思いますが、高齢者の方もたくさん参加され、大変楽しい大会になりました。昨年から開催予定だったのですが、昨年は雨で中止になり今年が初めての大会でありましたが、グラウンドゴルフ協会のご協力をいただき非常にスムーズに運営できました。小学生から高齢者まで幅広い年代が参加できる大会で、今後も続けていければと思います。
- ・5月15日 (水) 子ども育成連絡協議会の総会がありました。各地区の役員の方がみえられましたが、子ども会の活動を通して自治公民館の存在意義を

改めて認識していただけたらという思いでお話しさせていただきました。

- ・ 5月21日（火） 21日に木城小学校、30日は木城中学校の学校訪問でした。どちらも落ち着いた様子で授業が進められており、ひと安心したところ です。
- ・ 5月24日（金） 行政事務連絡員会がありました。教育大綱を中心に説明させていただき、いろいろなご協力とご支援をお願いしました。義務教育学校の話もさせていただきましたが、反対とか異議とかはございませんでした。
- ・ 5月29日（水） 小中一貫教育研究会に出席しました。小学校と中学校の先生方が合同で開催される研究会なのですが、今まではボランティア活動や給食指導など一緒にできる行事等を中心に研究したり、それぞれの授業を参観した後報告会を行っていたりしていました。今年度からはこの研究会を義務教育学校に向けての準備に特化した内容。教育課程が中心になる内容になるようにして欲しいという話をさせていただきました。ふるさと教育・キャリア教育など教育内容について今後は検討していくことになると思います。

全国町村教育長会について教育長から報告

- ・ 「AI社会を生きる子供たちをどう育てるか」という演題で、国立情報学研究所 社会共有知研究センター長の新井先生の講演がありました。人間の知能を科学的に解明する方法はなく、AIは人工知能には成り得ない。2011年にロボットは東大に入れるかというプロジェクトを始めたが、東大に入れるロボットはないというのが関係者の意見だったそうです。AIに出来る事と出来ない事を解明するのがこのプロジェクトの目的で、AI時代が到来した時にAIに仕事を奪われないために人間が持つべき必要な能力がこの研究で分かるというものでした。AIに出来ない事は文章を正確に読み取る力がない、図やグラフの意味を正確に読み取ることが非常に難しい。AIが克服できないことを今からの子供たちに力をつけさせていく必要があるが、現在の小中学生にAIと同じ問題を解かせたところAIと同じところの間違いが多かったそうです。同じように文章を正確に読み取る力や、図やグラフを正確に読み取ることができない子供たちが多いそうです。10年後20年後に残る仕事の共通点はコミュニケーション能力や読解力を求められる仕事。介護や柔軟な判断が求められる肉体労働、つまり相手の気持ちを汲む、常識や人間らしい判断が求められる分野の仕事だということでした。

これまでの日本は品質管理が世界一優れていて、知識や技能が優れているが、この知識や技能についてはAIに代替可能な職種が多い。これが今の日本の問題であり、

今までは良かったが、今後AIに奪われる職が多くなると言われました。今後AIに代替可能な職業100種の中に先生は入っていない、先生方は残るということになりますが、AIに出来ない事は意思がない、善悪、美醜がわからない。感覚がない、想定外のことができないということで、AIに出来ないことがこれからの子供たちに必要な力である。大学入試が記述式を多く取り入れ、論文形式のものが多くなっていく。人に伝える力、創造する力をどう育てていくかがこれからの教育に必要であるということでした。

それから、「被災地の現状報告」ということで、福島県の岡富町の教育長が実践報告をされました。双葉郡8町で取り組む教育復興について、様々な取り組みをされている現状をお話しされました。

リーディングスキルテストにつきましては、五ヶ瀬町が取り組んでいるところです。文科省の重点事項につきましては資料をつけておりますので、ご覧いただければと思います。

中竹教育長

・続きまして、5月の行事報告及び6月の行事予定をお願いします。

課長

5月行事報告)・・・主なものの説明

- ・5月23日(木) 県民総合スポーツ祭児湯郡選手団結団式
木城町選手団結団式

6月行事予定)・・・主なものの説明

- ・6月 1日(土) 県民総合スポーツ祭総合開会式
- ・6月 2日(日) 県民総合スポーツ祭 アーチェリー競技の部
- ・6月 4日(火) 定例教育委員会
- ・6月 7日(金) 令和元年第3回木城町議会定例会 13日まで
- ・6月19日(水) 定例校長会
- ・6月30日(日) 町民体力づくりスポーツ大会 ミニバレーの部

白岩係長

- ・5月11日(土) 子ども会育成連絡協議会総会
- ・5月21日(火) 体育協会総会
- ・5月24日(金) 自治公民館長会及び総会
- ・6月 3日(月) 青少年育成町民会議総会

中竹教育長

・報告についてのご質問はございませんか。

金永委員

・比木地区への助成事業の内容は何ですか。

課長

・比木盆踊り保存会で使用する盆踊り関連の備品が主なものです。一般財団法人自治総合センターの助成事業になります。木城町で年に1件程度の採択になります。

中竹教育長

・今までに採択を受けた地区はどこですか。

白岩係長

・中椎木、中原、牧ノ内そして今年が比木です。昨年から申し込みが増えています。

(3) 協議事項

中竹教育長

・続きまして、協議事項に入ります。夏季休業中の学校閉庁について協議をお願いします。

課長

・夏季休業中の学校閉庁につきましては、働き方改革の一環として木城町立学校においても学校閉庁の取り組みを実施したいと考えています。期間につきましては、宮崎県が推奨する8月10日から18日のリフレッシュウイークに合わせ宮崎県と同じ期間で実施したいと思います。

中竹教育長

・この件につきましてはこれでよろしいでしょうか。

各委員

・異議ありません。

中竹教育長

・教育大綱につきましては、前回指摘を受け修正しましたので、確認をお願いします。

鳴海委員

・前回協議した、例えば「推進します」を「努めます」と変えた方が良いのではないのでしょうかと指摘されたところを修正されたとのことなので、前回協議した内容ですの
で良いのではないのでしょうか。

課長

・7ページの「ボランティア活動の充実を目指す」というのはどうでしょうか。

小嶋補佐

・充実を「図ります」の方がいいのではないのでしょうか。

牛田委員

・2番と3番の違いは何ですか。「図ります」と「努めます」

金丸専門監

・特に努力が足りない部分について「努める」と強調したところです。

中竹教育長

・今の段階で、何割程度出来ているかで言葉を変えています。

金永委員

・前回も言いましたが「翔く」を「はばたく」と読ませることについては、指摘があった場合には説明できる材料を持っていた方がいいでしょうね。「はばたく」と読ませるのですから、子供や保護者に「はばたく」と覚えられたら困る。高校入試でも大学入試でも間違った漢字を使うと減点になりますから、そこを含んであえてこれを使う事の趣旨をしっかりとっておく必要があると思います。

中竹教育長

・第5次総合計画を策定するときのキャッチフレーズとして公募したものです。

柄本委員

・漢字のイメージを使ったんでしょうね。

金永委員

・何かあった時の対応がしっかりと出来れば良いと思います。

中竹教育長

・それでは、教育大綱については承認ということによろしいでしょうか。

各委員

・はい。

(4) 意見交換

中竹教育長

・意見交換ということで、何かないでしょうか。学校訪問されて何か感想とかがあればお願いします。

鳴海委員

・小学校も中学校たいへん落ち着いている感じがしました。

中竹教育長

・ずいぶん落ち着いているようです。スタートから良かったと校長先生も言われていました。

金永委員

・校長先生が色々なことを良く周知されてやっておられますので、問題は感じませんでした。一つだけ中学校の大山校長先生が言われたモニター用のテレビは授業で使っているということは授業で必要だということだと思いますので、個人ではなく学校で準備していかなければいけないと思いますので、必要があれば教育課として予算要求すべきだと思います。

小嶋補佐

・予算要求はしていきたいと思います。

中竹教育長

・教育委員会で予算化していく必要があると思います。今は多目的室に一台置いてあります。

柄本委員

・個人で電子黒板を使ってらっしゃる先生というのは、他校でも使ってらっしゃったのでしょうかね。

小嶋補佐

・おそらく、電子黒板ではなくテレビのモニターだと思います。大きいテレビと同じです。本来電子黒板は書き込み等ができるものであり、ほとんどの学校がパソコンのデータが映しだせるテレビを導入していると思います。

柄本委員

・テレビでも代用できるということですね。

小嶋補佐

・県内でもテレビが多いです。大型提示装置を導入しなさいということで、電子黒板は高価なためテレビで賄っているところが多いと思います。

中竹教育長

・プロジェクターは各教室に導入しています。マグネット式のスクリーンを備え付けていますが、それを使うと黒板が全面的に使えなくなります。今の教室は狭くて大型テレビを入れるスペースがないという事情もあります。

小嶋補佐

・プロジェクターが良いということで、プロジェクターを導入した経緯がありますが、大型提示装置が必要であれば、予算要求はしていきたいと思います。

金永委員

・予算の要求はしていただき、できる限りの環境を整えてほしいと思います。

牛田委員

・中学校の図書室がとても開放的で良かったと感じました。

中竹教育長

・中学校読書活動推進事業の指定校になっていますので力を入れていると思います。それから、先日、青少年育成町民会議の時に、各学校だよりを町広報誌と一緒に配布してはどうかというお話がありました。ホームページになると、年配の方はホームページを見ないし、写真とかをふんだんに使えば、年配の方も見られるのではないかとご意見をいただきました。

柄本委員

・病院とかスーパーとかに一部ずつ貼るとかはどうでしょうかね。全戸配布だと予算もかかるし、重複するご家庭もあるのではないのでしょうか。

金永委員

・新田とか配布しているところもあると聞きます。全戸ではなくても班回覧でもいいのではないのでしょうか。

課長

・私も全戸ではなく班回覧でもいいのではないかと思います。

鳴海委員

・一方ではペーパーレスを言っているのに、ホームページを大いに活用したらどうでしょうか。毎月月報がきますがかなりの量ですよ。

中竹教育長

・文字ばかりだとなかなか見ないので、写真とかをふんだんに使ってはどうでしょうか。

柄本委員

・学校のホームページに新聞も載せたらどうでしょうか。

金永委員

・掲示という方法もあります。

牛田委員

・リバリスとかにも掲示したらいいのではないのでしょうか。

金永委員

・要望があったならば、何らかの動きをする必要がありますので、方法はいくらかありますので検討していく必要があると思います。

中竹教育長

・いろいろな意見ありがとうございました。他には何かありませんか。

中竹教育長

・それでは次回定例教育委員会は7月2日ということで、本日の会議を終了します。

(5) 次回定例会日程

7月 2日 (火) 9時00分から

リバリス1階小会議室

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

木城町教育委員会

会議録署名委員

教育長

中竹 聖子

委員

金永 俊一